



いいで町

175号

議会だより



魚のつかみ取りに夢中な子ども達（いいでめざみの里まつり）

9月定例議会

定例会概要 令和元年度補正予算	…………… P 2～3
平成30年度決算	…………… P 4～5
一般質問	…………… P 6～10
臨時会・新体制	…………… P 11～13
決算特別委員会 （総務文教・産業厚生）	…………… P 14～17
おしらせ・あしがき	…………… P 20

畜産生産拠点整備事業 工事が本格化

定例会概要

9 回定例会は、9 月3日から13日までの11日間開催され、5人の議員が一般質問を行いました。

平成30年度各会計決算、令和元年度補正予算のほか、条例の一部改正・人事・その他の案件を審査し、全て原案の通り可決・認定・同意しました。

項目	内容	件数	賛否
議案	人事	2件	同意推薦
議案	令和元年各会計補正予算	14件	全員賛成で可決
議案	平成30年度各会計決算	14件	全員賛成で認定
議案	条例の一部を改正する条例制定	2件	全員賛成で可決
議案	平成30年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告	1件	承認

一部を改正する条例

◆印鑑条例

法律の施行により、住民票に記載された旧氏で印鑑登録を可能にするため、一部改正を行うものです。

◆人権擁護委員

飯豊町 黒沢

手塚 淳子

歳入の主なもの

○子ども・子育て支援交付金 400万円

◆選挙管理委員会委員

飯豊町 小白川

横山 幸造

飯豊町 添川

遠藤 和芳

飯豊町 黒沢

古山 幸子

飯豊町 手ノ子

小関 恵子

◆選挙管理委員会補充員

飯豊町 中

長岡 勝

飯豊町 添川

草刈 信子

飯豊町 小屋

伊藤 浩一郎

飯豊町 椿

井上 千恵美

(新任)

歳出の主なもの

○いきいき雪国やまがた推進交付金 273万円

○園芸大国やまがた産地育成支援事業費補助金 206万円

○学校施設整備補助金 △1640万円

○道路橋梁費補助金 △5926万円

○障がい者地域生活支援事業 224万円

○畜産生産拠点整備事業 1882万円

○町道南館深淵線外道路改良工事 △4570万円

人事

次の人事案件に同意しました。

◆教育委員会委員

飯豊町 中

田林 義則

各会計補正予算

【一般会計補正予算】令和元年度一般会計は歳入歳出それぞれ1億9152万円を減額し90億2854万円としました。

◆ 一般会計補正予算

【歳入】

(単位：万円)

款	補正前の額	補正額	計	補正の主なもの
地方特例交付金	1400	121	1521	
地方交付税	29億5450	83	29億5533	
使用料及び手数料	8446	374	8820	農業・観光使用料等
国庫支出金	5億3142	△ 6961	4億6181	道路・橋梁費補助金の減等
県支出金	11億4369	△ 82	11億4287	
繰入金	9億7071	△ 3355	9億3716	財政調整基金繰入金の減等
繰越金	1億 410	59	1億 469	前年度分
諸収入	8398	1169	9567	給食費収入等
町債	24億 940	△ 1億 560	23億 380	中学校大規模改修事業の減等
補正されなかった款の額	9億2380	0	9億2380	
歳入合計	92億2006	△ 1億9152	90億2854	

【歳出】

(単位：万円)

款	補正前の額	補正額	計	補正の主なもの
議会費	7742	223	7965	議員報酬の増
総務費	10億8240	△ 1805	10億6435	町有財産管理費の減等
民生費	13億 828	897	13億1725	障がい者地域生活支援事業等
衛生費	3億2526	△ 30	3億2496	
農林水産業費	16億7328	2619	16億9947	畜産生産拠点整備事業等
商工費	20億1964	183	20億2147	ゆり園管理運営事業等
土木費	6億3131	△ 8626	5億4505	道路新設改良事業の減等
消防費	2億4592	379	2億4971	消防施設等整備事業等
教育費	11億 384	△ 1億2992	9億7392	中学校大規模改修事業の減等
補正されなかった款の額	7億5271	0	7億5271	
歳出合計	92億2006	△ 1億9152	90億2854	

◆ 特別会計補正予算

(単位：万円)

特別会計名	補正前の額	補正額	計	補正の主なもの
国民健康保険	7億6985	16	7億7001	前年度繰越金の増
後期高齢者医療	8711	15	8726	繰入金の増
介護保険	10億6939	3964	11億 903	国庫負担金・償還金の増
下水道事業	4億1817	△ 1593	4億 224	工事請負の精査等

平成30年度 各会計決算

防災ラジオ全戸に配備

平成30年度主な事業

事業名	金額
無線放送聴取支援事業（防災ラジオ 2400台）	2484万円
木質バイオマス利活用推進策定事業	1380万円
いいで未来サポート隊事業	309万円
母子保健事業	451万円
防犯事業（防犯灯維持管理を含む）	5318万円
デマンド交通運行事業	2014万円
廃棄物処理事業	8899万円
道路維持費（除雪費も含む）	4億7237万円
新産業集積事業（貸工場・屋台村も含む）	8億1936万円
椿住宅団地整備事業（工事）	6307万円
畜産経営競争力強化支援事業	2597万円
手ノ子スキー場圧雪車購入	3375万円
委託保育料	1217万円
第一小学校遊具整備	2099万円
共同調理場（オープン・冷蔵庫等購入）	887万円

平成30年度一般会計及び特別会計並びに事業会計合わせた14会計は、すべて全員賛成で認定しました。

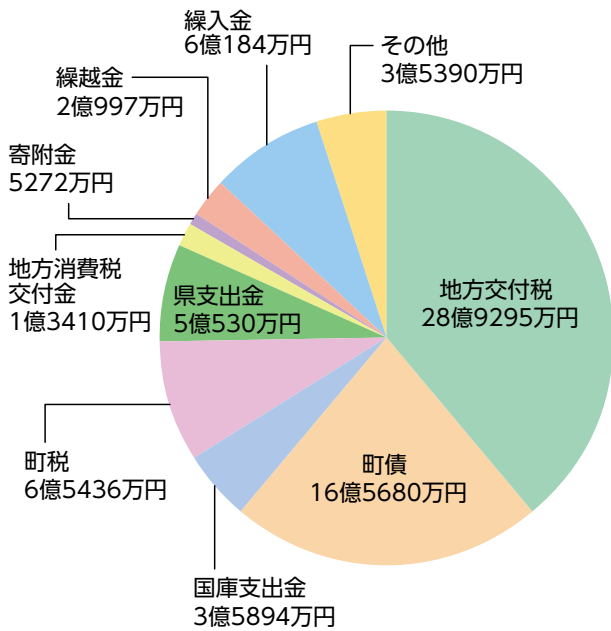
その中でも、一般会計、特別会計の未収金が5月末で7091万円となり、29年度より106万円増えています。その内訳は町税未収金が5163万円で27万円の増、税以外の債権では1億9228万円となり、80万円の増額となっています。自主財源に乏しい本町財政の改善をはかることが今後求められる課題です。



頼れる防災ラジオ

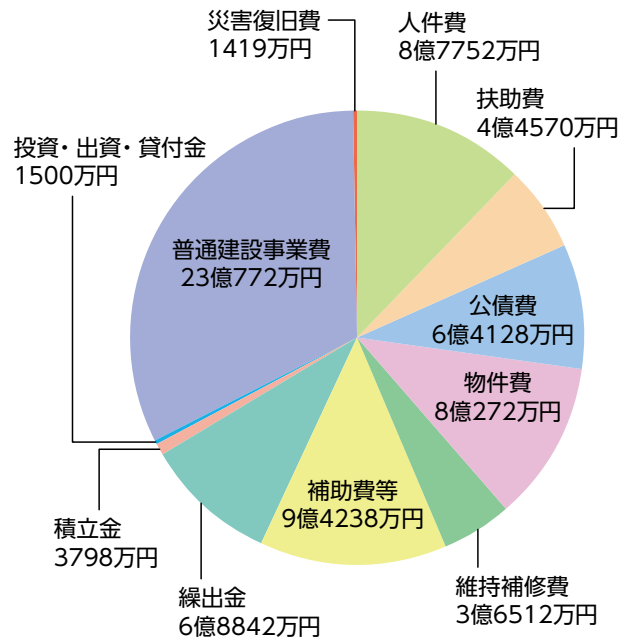
歳入

合計 74億2088万円



歳出

合計 71億3803万円



各特別会計決算

会計		歳入	歳出
国民健康保険	事業勘定	7億2714万円	7億1998万円
	直進勘定	9275万円	9246万円
介護保険		10億6830万円	10億3144万円
後期高齢者医療		8680万円	8662万円
下水道事業		6億9218万円	6億9186万円
訪問看護		1483万円	1463万円
介護老人保健施設		2億7601万円	2億7566万円
物品調達		1709万円	1709万円
5財産区		1064万円	975万円
水道事業	収益的	2億5080万円	2億2144万円
	資本的	1742万円	5803万円

各基金残高

基金の名称	本年度末残高
財政調整基金	8億1584万円
減債基金	3億6645万円
地域福祉基金	2億3832万円
公共施設整備基金	5億647万円
地域振興基金	6541万円
いいでめざみの里応援寄附基金	3034万円
スポーツ振興基金	4688万円
交通遺児等支援基金	501万円
国民健康保険給付基金	1億388万円
介護保険介護給付準備基金	8733万円
畜産振興基金	5525万円
奨学資金貸与基金	6445万円
土地開発基金	1億7154万円
財産区基金 (4財産区)	8070万円
総合計	26億3787万円

一般質問

持続可能な飯豊の未来を開こう!!



遠藤 忠 議員

○将来の税収の見通しは

○PFIを活用したアパート等の建設は

○子育て世帯用町営住宅の建設は

○短期大学開設に向けた文科省申請準備は

○スマート農業に向けた対応は

○インバウンドの取り組みは

○危険空き家対策5年を目的の取り組みは

○次世代エネルギーパーク公募の検討は

○町の財政健全化比率は大丈夫か

企業誘致と定住対策で

町長 雇用と定住促進を行い、年間3200万円の税収に期待します。

民間サイドとの連携を推進

町長 財政負担の軽減と民間の事業機会の創出につながりますので連携を推進します。

【質問】 将来の税収見通しはどのように捉えるか。

【質問】 PFIを活用したアパート・マンションの整備が必要だが。

【質問】 添川住宅団地に子育て世帯用町営住宅の建設は。

若者定住促進住宅等公共住宅の整備が必要

町長 添川住宅団地造成完了後、分譲開始し公共住宅の整備を考えていきます。



分譲開始の添川住宅団地

【質問】 萩生に予定している短期大学開学に向けた準備は大丈夫か。

開学に向け準備中

町長 本年10月に申請することのことです。

【質問】 スマート農業に向けた取り組みは。

総合イノベーション戦略2019を策定

町長 スマート農業に向けた取り組みと、将来の大規模圃場整備の対応も考えていきます。

【質問】 インバウンドの取り組みと中津川地区及び白川荘の再開発は。

白川荘の再開発早急にインバウンド対応で

町長 白川荘・フォレストの老朽化に対応し、議会と共に早急に検討を行います。

【質問】 危険空き家対策は。

3月に飯豊町空き家等対策計画を策定済

町長 5年を目的に解消してまいります。

【質問】 眺山次世代エネルギーパーク公募の検討を進めてはどうか。

バイオガス発電運用後効果を確認して検討

町長 来年春の操業開始後に検討します。

【質問】 現在の財政健全化比率を住民は心配しているが大丈夫か。

実質公債費比率30年決算で7.2%

町長 飯豊中・貸工場・住宅団地整備などで令和7年にかけて上昇しますが、今後10年で平常になり大丈夫です。

(本人執筆)

一般質問

飯豊町第5次総合計画 (令和3年から10年間)の策定について



遠藤 芳昭議員

- まずは町内団体等で前計画を総括すべきでは
- 大型プロジェクトをどう継続するのか
- 若者が魅力を感じる計画をどうつくるのか
- 「まちづくりセンター」を地域づくりの柱に

質問 商工業者はじめ各地域や青年女性層等から意見を聞いた上で、次期総合計画を策定する必要があるのでないか。

質問 町がすすめる大型プロジェクトに対する町民の理解度は。また次期計画にどのように盛り込むのか。

内外部多方面から意見を聞いて検証

町長 各組織や団体等、町民の意見を最優先に、内外部の評価を踏まえて検証作業を行い、次期総合計画に反映してまいります。

説明不足否めず計画を住民に説明

町長 事業をすすめる上で、町民への情報提供については慎重にならないを得ず、誤解や不安があることは認識しています。現在進行中の事業については、住民説明の

時間を設けて、住民の意見を反映した計画に心がけてまいります。

質問 次期総合計画では、若者が地元に残り（戻り）たくなるような計画や政策を打ち出す必要があると思う。若者が豊かで魅力的な町であると思えることが大切ではないか。

若者にとって魅力のある町にむけて努力

町長 若者にとって魅力的な町とは、生活の安定・面白い仕事・出合と交流・芸術文化スポーツなどに取り組みるライフスタイルがあることです。若者が豊かな地域資源を活用し、積極的にまちづくりに参加できる環境づくりをすすめてまいります。

質問

地区別計画だけでは、地域の課題は解決できないのではないか。「まちづくりセンター」を地域づくりの柱とするよう次期計画に盛り込むべきではないか。また「地域の課題は地域で取り組み組織づくり」にも力を注ぐべきではないか。

地域づくりの新しい仕組みを検討

町長 地区別計画は住民参加のまちづくりとして評価が高いが、地域のコミュニティの維持が困難になっている地域もでており、地域づくりの新しい仕組みを検討してまいります。今後は「まちづくりセンター」の役割について地区協議会との協議も含め、次期総合計画の課題と考えています。（本人執筆）



地区別計画椿地区の縁日復活事業
以前村祭りでは、多くの出店が軒を並べ、多くの子ども達でにぎわっていた。地区民が協力してその賑わいを伝える取り組みを行った

電池バレー構想は「食べることで町内活性化の応援を



高橋 勝議員

○持続可能なまちづくりの今後の取り組みは
○電池バレー構想で町内活性化へ
○いいですね条例の現状と見直しは

質問

持続可能なまちづくりを目指し、今後どのように取り組んでいくのか。「まちづくり会社」を立上げては、

担を整理し、スタッフ数と予算配分の見直しが必要と考えます。

さらにまちづくりセンターは、人口減少による様々な課題に対しての集落点検を通じて実施する政策立案の場となるよう支援していきます。

**まちづくりセンター
活動支援**

町長 持続可能なまちづくりにおいて、何を継続して何をかえなくてはならないのかが、推進可否の分岐点になると考えます。

若者が集まる場の必要性・また地区公民館と集落支援員の役割分

では、「農村計画研究所の再興」を検討中です。ビジネスモデルかボランティアに近い形式がいいのか、これらの企画立案分野であると判断しています。

質問

電池バレー構想の経済効果は、「食べることで町内活性化に結びつくと思うが。」

**農林産物利活用
プロジェクト立上げ**

町長 「新産業集積事業が農業を応援する」という提案について、まさにそのとおりだと思います。町内産食材を町内誘致企業や関連グループ企業の社員食堂で利用いただくことや、関係企業の力を借りて販路を拡大していくなど大きな可能性があり、早急に実現を図るためプロジェクトを立ち上げ、第5次総合計画に盛り込む提案と考えています。

**各家庭で
支出先の振分け**

が町内で買えない」のが現状です。一番欲しいものを買うようにすべきでは。

商品券を贈呈しています。商品券の用途については、お子様のためになるように活用していただきたいと考えています。

町長 町内経済の波及効果にも考慮し、第1子・第2子に商工会の

条例の見直しは、現状や町民の意向を伺いながら、さらに充実を図っていきたいと考えています。(本人執筆)

質問

いいですね条例の出産祝品で、「一番欲しいオムツやミルク



工事中の貸工場 経済活性化への期待

一般質問

中長期的な財政計画は



川崎 祐次郎 議員

- 一般質問をどうとらえているか
- 中長期的な財政計画はあるのか
- 電池バレー構想の今後は

質問 議会の権限のひとつである質問権の手段としての、議員の一般質問をどのようにとらえているか。

極めて重要と認識

町長 町民の意見や町行政に望む事柄を町民に代わって発言し、町民の声をもとに議員自らが調査し、制度等の仕組みと課題を的確にとらえ政策の評価と対策を主張する一般質問は極めて重要であると

認識しています。

議会における監視やチェック機能が果たされ、将来に対する積極的な政策展開をするこ

とは、より重要なテーマであると考えます。

質問 町はここ数年、大規模な事業を展開しているが、財政基盤は大丈夫なのか。次の世代に負の遺産を引き継ぐような心配はないのか。より優先的な事業が数多くあるのではないか。

各視点での事業展開へ

町長 計画的な取り組みを行うための指針として、中期的な財政計画を策定しております。財政計画に沿って、若者の定住対策と雇用の創出、地方創生の推進のため、緊急性、必要性、効率性、効果などの視点で事業を展開しております。

質問 今後の財政運営

に関し、現在最も予算を投入している電池バレー構想の、最終的な計画と今後についてお聞きしたい。

雇用創出と大学誘致

町長 萩生にある山形大学×EV飯豊研究センターに続き、添川の



大規模な投資が続く飯豊電池バレー構想

東山工業団地に建設予定の貸工場は、使用会社であるセパレータ社であります。

さらに、電池、モーター、軽量化、自動化などのモビリティシステム(自動走行技術の早期の社会実装、普及を實現)工学を学ぶための専門職(短期)大学を誘致することとしています。これらにより、民間の投資が拡大し、住環境の整備促進、関連産業の創出も期待されます。(本人執筆)

自然災害から町民を守る 安全・安心なまちづくりを



屋嶋雅一 議員

○現在の自主防災組織率と組織率を上げるための施策は
○各地区避難場所の備蓄品の保管状況は
○町民主体の取り組みに対する行政支援は

質問 現時点での飯豊町自主防災組織率は何パーセントか。

また、組織されていない自治組織への取り組みと、戸数の少ない小規模自治組織への対応はどうか。

現状の課題を把握し、組織化へ働きかけ

町長 本町自主防災組織の現時点の組織率は87・4%となっております。また、組織化に向け

また、組織化に向け

備蓄品の整備が必要

必要と考えるが、現状はどうか。

町長 各地区公民館には発電機や飲料水等の備蓄品は保管されています。各分館には、各自治組織による防災資

材が保管されていますが、保管が不十分な分館もあるので、備蓄品が保管できるように支援していきます。また、学校等の避難

場所には収容人数が多くなるため、別枠として考えていますが、備蓄品は保管されておらず、整備は必要と考えております。

庁舎内の備蓄品も十分とは言えないので、何がどれだけ必要か早急に検討していきます。

自助・共助・公助が重要

町長 住民参加型の訓練の実施や防災に係る

町長 住民参加型の訓練の実施や防災に係る

質問 各地区において、災害に応じた具体的なハザードマップ作成や自身の避難行動について考えておく必要があると思うが、町民主体の取り組みへの支援は。

研修会、ワークショップを実施し、意識の向上を図り防災の正しい知識を持ってもらうことで、住民主体の取り組みにつながると思っております。今後あらゆる災害やリスクを想定し、自助・共助・公助、各々の役割を模索していきます。

(本人執筆)



保管されている備蓄品



住民参加型訓練のようす

エアコンを 各小・中学校に設置

第7回臨時会

7月31日、第7回臨時会を開催し一般会計補正予算を審議し全員賛成で可決しました。

補正予算

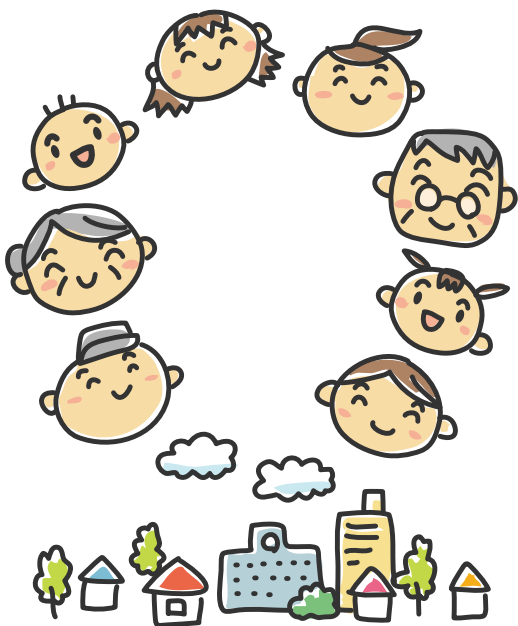
●一般会計

(仮称) 椿住宅団地造成事業の工事費に1430万円を追加するものです。

第8回臨時会

8月6日、初議会が開催され、議席の指定、議長・副議長の選挙、各常任委員と議会運営委員の選任及び各正副委員長を選任、一部事務組合議員の選挙も行われました。

また、工事請負契約の締結3件、工事請負契約の一部変更1件を審議し、いずれも全員賛成で可決しました。



工事請負契約の締結

●飯豊中学校

大規模改修工事

8億7450万円

工期 令和3年12月20日

樋口建設株式会社



大規模改修工事が本格化する中学校

●添川小学校

エアコン設置工事

4950万円

工期 令和2年2月10日

株式会社佐藤管工業

工事請負契約の 一部変更

●第二小学校

エアコン設置工事

4950万円

工期 令和2年2月10日

那須建設株式会社

●(仮称)椿住宅団地

整備工事

設計変更により工事請負費を、1億5768万円から2億1037万円にするものです。

新体制でスタート



監査委員
遠藤 芳昭 議員



副議長
遠藤 忠 議員



議長
菅野富士雄 議員

◎◎

高屋遠古舟高
橋嶋藤山山橋
雅芳繁政亨
勝一昭巳男一

《広報公聴常任委員会》

◎◎

川遠遠後菅高古
崎藤藤藤野橋山
祐芳 恵富 繁
次昭 忠郎雄勝巳

《産業厚生常任委員会》

◎◎

舟遠高後菅屋川
山藤橋藤野嶋崎
政 亨 恵 富 雅 祐
男 忠 一 郎 士 次
一 郎 雄 一 郎

《総務文教常任委員会》

◎◎

遠古川後
藤山崎藤
繁 祐 恵
忠 巳 郎 一郎

《議会運営委員会》

◎ 委員長 ○ 副委員長

◆置賜広域行政事務組合議会議員

- 菅野富士雄 (議会運営委員・第一委員会)
- 後藤恵一郎 (第二委員会)
- 古山 繁巳 (第二委員会)

◆西置賜行政組合議会議員

- 遠藤 芳昭
- 屋嶋 雅一 (議会運営委員)
- 高橋 勝

◆置賜広域病院企業団議会議員

- 菅野富士雄 (代表世話人)
- 高橋 亨一 (病院運営特別委員長)
- 遠藤 忠 (議会運営委員)



かわさき ゆうじろう
川崎 祐次郎 議席番号 **1**

所属委員会等
総務文教常任委員会委員長
産業厚生常任委員会
議会運営委員会副委員長



やしま まさかず
屋嶋 雅一 議席番号 **2**

所属委員会等
総務文教常任委員会副委員長
広報公聴常任委員会
西置賜行政組合議会議員



ふなやま まさお
舟山 政男 議席番号 **3**

所属委員会等
総務文教常任委員会
広報公聴常任委員会副委員長



えんどう よしあき
遠藤 芳昭 議席番号 **4**

所属委員会等
産業厚生常任委員会
広報公聴常任委員会
西置賜行政組合議会議員
監査委員



たかはし まさる
高橋 勝 議席番号 **5**

所属委員会等
産業厚生常任委員会副委員長
広報公聴常任委員会
西置賜行政組合議会議員



えんどう ただし
遠藤 忠 議席番号 **6**

所属委員会等
副議長
議会運営委員会
総務文教常任委員会
産業厚生常任委員会
置賜広域病院企業団議会議員



たかはし きょういち
高橋 亨一 議席番号 **7**

所属委員会等
総務文教常任委員会
広報公聴常任委員会委員長
置賜広域病院企業団議会議員



ふるやま しげみ
古山 繁巳 議席番号 **8**

所属委員会等
議会運営委員会
産業厚生常任委員会委員長
広報公聴常任委員会
置賜広域行政事務組合議会議員



ごとう けいいちろう
後藤 恵一郎 議席番号 **9**

所属委員会等
議会運営委員会委員長
総務文教常任委員会
産業厚生常任委員会
置賜広域行政事務組合議会議員



かの ふじお
菅野 富士雄 議席番号 **10**

所属委員会等
議長
総務文教常任委員会
産業厚生常任委員会
置賜広域行政事務組合議会議員
置賜広域病院企業団議会議員

チップポイラーを導入

◆ 総務文教所管分 ◆



決算特別委員長

後藤 恵一郎

平成30年度一般会計、特別会計及び水道事業会計合わせて14件について、決算特別委員会を設置し審査しました。
決算特別委員長に後藤恵一郎、副委員長に古山繁巳両議員を選出し、9月10日・11日の2日間にわたり、活発な質疑から慎重に審査を行い、いずれも全員一致で認定すべきものとなりました。

一般会計

遊具整備工事の繰越理由とその内容は

教育総務課長

舟山委員
第一小学校遊具整備工事が繰越事業となった理由と工事の内容は、
発注時期の遅れと遊具の設定など、学校との調整もあり、平成29年度から平成30年度への繰越事業となりました。

また、遊具は10基と樹木植栽や広場の緑化工事などが内容です。



新設された遊具

緑が丘斎場管理運営は

屋嶋委員

平成29年度までの緑が丘斎場管理運営負担金は、約550万円前後だが、平成30年度は2400万円近い負担額になっている。その内訳は。

また、構成市町の負担金割合の比率は。

住民課長

平成30年度に大規模改修工事を行ったため、負担金が増えました。管理運営負担金は568万円で、改修工事負担金は約1810万円です。

また、構成市町の按分により、本町の負担金比率は28・3%です。

このままで

行財政は大丈夫か

川崎祐次郎委員

5年連続で単年度赤字となっている。地方交付税は年々減少する中、予算編成の前に継続事業や事務事業の見直しで、行財政計画を確立すべきでは。

総務課長

財政運営においては、町民の行政サービスの低下を招かないように有効な起債により事業を進め、各種基金の取り崩しにより、行財政運営を行っています。大規模な施設整備などの投資は、減価償却の計算の考えからすれば赤字とはなりません。将来収入となる事業展開や将来に続く行財政運営に努めてまいります。

決算特別 委員会

しらさぎ荘に木質

カンタート事業の
効果は

遠藤忠委員

音楽からの町づくりで、めざまの里カンタート事業を行っているが、全体的な参加人数は、また、効果は。

企画課長

参加人数は、平成28

年度までは約180名でしたが、平成29年度から約140名と40名程減少しています。また、町内の参加人数は30〜35名です。効果として、音楽を通じて地域の参加者とのつながりができ、その後の交流にもなっています。

参加者の減少に対しては、今後内容の検討

が必要と思います。

委託保育の内訳は

高橋亨一委員

町外3市2町の委託保育の人数と施設によつての保育料の違いは。

教育総務課長

町外6施設に9名で、うち5名が通常の委託、4名は数か月間の委託です。

委託保育料は、国が定める公定価格によりますが、年齢、保育時間によつて単価の違いがあります。その他、施設の定員区分、職員の経験年数、除雪費用が加算されるため、金額が違ってきます。

木質バイオマス導入の調査結果と今後の計画は

高橋勝委員

木質バイオ

マスエネルギーギー導入可能性調査と計画策定業務の委託とあるが、調査結果と策定された計画は。

企画課長

町内の公共施設や民間施設など60施設を対象に、保有設備エネルギーの利用状況と概況調査を行いました。

古山委員

平成30年度の不能欠損を、1年で処理した理由は。

古山委員

平成30年度の不能欠損は、本町に勤務していた4名の海外者分です。

第一事業候補地は、2019年度〜2021年度の間木質チップボイラーを導入する

4件です。



木質チップボイラー導入先のしらすぎ荘

不能欠損処分の理由は
(徴収できない金額)

古山委員

平成30年度の不能欠損を、1年で処理した理由は。

4件です。

政圧迫しないように

◆産業厚生常任委員会管分◆

一般会計

農地多面的機能交付金事業の課題は

が、計画的な執行といえるのか。

遠藤忠委員

多目的機能支払交付金を39団体に交付しているが、農業者の高齢化等による対策は。

商工観光課長

具体的に事業ができず、30年度に繰り越したものです。

農林振興課長

①組織のリーダーの育成や確保②労力の軽減と地域コミュニティでの取り組み③広域化への取り組み等が考えられます。

取得費と造成工事費、建物設計料等ですが、用地取得が遅れたため、造成工事も途中までで年度未完了したものです。

商工観光課長

7百万円を支出している事業はどのようなものか。

高橋亨一委員

農作物鳥獣被害現状と対策はどのようになっているか。10万円程度の補助金で十分なのか。

貸工場関連繰越金の不要額は適正か

川崎委員

平成29年度からの繰越事業費5億5千万円のうち2億4千万円の不要額が発生している

屋台村は何を発信し創出したのか

舟山委員

屋台村が促進する産業創出とまちおこし事

ます。

7百万円で委託している飯豊電池研究所は

農業振興室長

平成30年度鳥獣による農作物被害はイノシシ、クマ、サル、タヌキの4種類であり、143万3千円と把握し

鳥獣被害対策は万全か

コワーキングスペースの活用を取り組みとして、県内向けの広告や各種セミナーの開催、産業旅行の推進としてパンフレットを全国に発送したものです。

中津川地区むらづくり協議会と共に追いつき活動等を行ってきま



貸工場完成予想図

決算審査 特別委員会

大型事業が財

未収金の内容と
その理由は

高橋勝委員

歳入のうち未収金が目立つようである。その内容と理由は。

商工観光課長

しらすぎ荘の使用料は、年度末に大規模な修繕が必要となったため、支払いが困難になったもので、新年度に一部は納付されました。

第三セクターはいずれも厳しい状況にあり、委託料等の今後のあり方について検討する必要があると考えています。

健康福祉課長

社会福祉除雪費の元金未収は除雪ヘルパー派遣の一部は町が一旦立て替えるもので未収



高円寺のリニューアル状況

高円寺の成果は

古山委員

開設して数年経過するが、町にどのような経済効果をもたらしたか、その成果をきちんと報告すべきではないか。

商工観光課長

高円寺には町内産品の売り込み、販路の拡大、交流人口の拡大、町の情報発信の目的があります。リニューアル後は売上げが3倍になっており、町から年300万円の特産品が送られています。テレビや新聞のマスコミにも度々取り上げられ全国に配信されています。

今後、町民の皆様が高円寺での取り組みを広報誌等で具体的に報告いたします。

特別会計

安心生きがい訪問
事業の成果は

屋嶋委員

介護保険任意事業の安心生きがい訪問事業の成果は。

介護老人施設利用料
滞納者への対応

川崎委員

29年と30年の滞納繰越分の金額が変わっていないので催促しているのか。

健康福祉課長

一人暮らしの高齢者等にヘルパーが月2回訪問するとともに、電話等で安否確認し、高

介護老人保健施設事務長

昨年度から滞納者からの納入はありません。文書や訪問しての催促をしましたが納入いただけず、今後更に努めてまいります。



ヘルパーの業務、活躍の状況

椿住宅団地事業(椿エコタウン) 工事が完成

総務文教常任委員会

各課からの報告

● 税務会計課

◇ 固定資産税の課税誤りは、今年度は早急に報告します。該当者を把握のうえ更生通知を送ります。

● 総務課

◇ 新潟県弥彦村より災害応援協定を結びたいとの申し出がありました。柏原原発事故発生時の対応との理由によるもので、その方向で進んでいきます。

● 企画課

◇ (仮称) 椿住宅団地造成工事が8月30日に完成しました。確定測量完了後に分譲地の登記を行い、分譲を開始します。なお、分譲地22区画の内、1区画に年度内にモデル住宅の建設準備を進めています。

◇ 消費税の引き上げによる影響を緩和するために、プレミアム付き商品券発行事業を実施します。

● 教育総務課

◇ 全国学力テストの結果、小学校県平均との比較で国語がやや下回り、算数では上回りました。

国語・算数は、全国平均を上回りました。

中学校の国語は県平均と同程度、全国平均をやや上回り、数学と英語は、県・全国平均とも下回りました。

◇ 第61回山形こども絵画展(こども県展)に小学生30名、中学生9名が入選されました。

質問と答弁

遠藤忠委員 椿住宅団地完了後に、防犯カメラを設置してはどうか。

企画課長 防犯カメラ設置の計画はありません。

高橋亨一委員 来年度から小学校の英語授業が始まるが、教育費予算の増額と教員の増はあるのか。

教育長 来年度の教員枠と、予算増はありません。

今年度より英語授業を試行しています。

屋嶋委員 子どもの虐待をどのように把握しているか。

教育長 通告は4件あり、虐待と認定したのが2件です。

後藤委員 デンソー山形の工場増設により大型車の交通が増加し、道路状況が通学、通勤に影響をおよぼしているのでは。

舟山委員 エスデージーズが掲げる目標と学校統合をどのように考えるか。

もありません。

総務課長 工場と地域の関係者と協議を重ねていきます。また、第5次総合計画の中で、議論をされている部分

町長 質の高い教育の提供を目標としており、その両者の関係性に、矛盾するものではありません。



造成完了した椿住宅団地

第3セクターの運営見直しを検討

産業厚生常任委員会

各課からの報告

●農林振興課・農業委員会

◇秋の収穫祭を、11月3日に物産館で行います。

●商工観光課

◇白川荘・しらさぎ荘の入浴料を10月から改定し、大人450円小人150円になります。

◇貸工場の法面崩壊の対応は、工期を8月21日～11月20日とし、保護工事を行います。

◇「みちのくダム湖サミットin白川」の開催が10月10日に町民総合センターで開催されます。

●地域整備課

◇住宅リフォーム補助事業は25件の申請を実施し、現在60%の執行率です。

●健康福祉課

◇民生委員・児童委員の委嘱状伝達式を12月2日に開催予定です。

◇福祉事業所でんでの増築・追加工事（強化ガラス・手洗い場）を行います。

●介護老人保健施設・国保診療所

◇「老人保健施設協会山形県大会」の開催が10月3日に物産館を会場に行われます。



再開がもたれるフォレストいいで

遠藤忠委員 3セクの指定管理料の見直し予定は。

町長 施設ごとにアンバランスな面もあり、見直すことを検討し、安定経営できるように議会の意見も伺います。

川崎委員 林道飯豊枝岐線の維持管理費が膨大な額になっているが、今後の予算捻出は。

質問と答弁

農林振興課長 県に県道・国道への格上げと、財源確保を要望しています。法面工事は、交付金を活用しています。

遠藤芳昭委員 県道長 井飯豊線(小白川地内)の路線改修の今後の予定は。

地域整備課長 1・2kmについて県に要望書を提出しヒヤリングが行われ、今年度は調査費が計上されました。

高橋勝委員 各地区で開催された農業経営検討会で出た意見は。

農地管理室長 9月で全地域の検討会が終了しました。アンケートでは、回答者の約70%に後継者不在が判明しました。地域からは法

人化、基盤整備や後継者対策の意見が多数出され、今後は県のアドバイザー派遣事業も活用し、課題解決に努めていきます。

菅野委員 福祉事業所でんでの屋根の劣化年数(10年)は短くないか。

健康福祉課長 屋根の材質(材料)自体は粗悪な物ではないと考えます。

後藤委員 JFEMINEラル飯豊鉱業所閉山の町内への影響は。

商工観光課長 3年程度で更地に戻し、従業員は他事業所へ転勤、または事務所で残務処理を行うとのこと。

- 町や地域の課題解決
- 地域づくり
- まちづくり
- 子育て・教育
- 福祉・医療
- 商工農林等の産業

飯豊町議会との「意見交換会」

受付中

飯豊町議会では、各種団体やグループと、町づくりの課題などについて話し合い、町民の皆さんのご意見をお聞かせいただき、課題の共有化や相互の理解を深めるとともに、ご意見を議会活動に反映させ、政策提言や町への要望などを行うことを目的として、「意見交換会」を計画しています。

開催を希望される団体、グループの皆さんは、下記町議会事務局までお申し込み下さい。

- 対象団体** 町内に所在し活動する、参加人数が概ね10名程度の団体
(商工農林団体、地区、部落自治会、サークル、仲間等)
- 交換会の内容** あらかじめ提出していただいたテーマに基づいて、意見交換を行います
- その他** 開催日時や場所、テーマ等は団体の代表と協議させていただきます
原則として全議員が出席します
- 担当** 飯豊町議会広報公聴常任委員会
- お問い合わせ** 飯豊町事務局 TEL 0238-87-0527 FAX 0238-72-2430

令和2年4月1日からの価格改正の内容

指定ごみ袋の種類	改正前	改正後
可燃ごみ袋 (大) 10枚入り1袋	500円	550円
可燃ごみ袋 (小) 10枚入り1袋	350円	370円
不燃ごみ袋 (大) 10枚入り1袋	500円	550円
不燃ごみ袋 (小) 10枚入り1袋	350円	370円

※資源袋はリサイクル推進のため価格据え置き

指定ごみ袋等の 価格が変わります

置賜広域行政事務組合では、消費税等の引き上げに伴い、令和2年4月1日から、指定ごみ袋等の価格が変更になります。

ただし、自宅に買い置きされている価格改正前の指定ごみ袋は、価格改正後も引き続き使用できます。(黄色い)資源袋はリサイクルを推進するため価格は据え置きとなっております。その他、収集粗大ごみ(一部品目)、し尿収集も一部改正されます。

編集後記

友好都市の南房総市には、台風15号に続いて19号の影響で大きな被害が出ており、心からお見舞いを申し上げます。

7月の町議会議員選挙において、新たな体制となりました。よりよい町づくりを目指して、日々努力しているところです。議会だよりも、研鑽を重ねて、より一層読みやすい広報にしていきたいと思います。

(舟山記)

- 発行責任者** 議長 菅野富士雄
- 発行** 広報公聴常任委員会
- 委員長** 高橋 亨一
- 副委員長** 舟山 政男
- 委員** 古山 繁巳
- 委員** 遠藤 芳昭
- 委員** 屋嶋 雅一
- 委員** 高橋 勝